倫理審査委員会議事録

日 時 令和7年7月17日（木）15時00分～16時50分

場 所 第1研修室

出席者 陳委員長（副院長）、川尻委員（事務部長）、若森委員（看護部長）
平松委員（薬剤科長）、大岩委員（医療安全管理係長）
西川委員（外来師長）、木谷委員（庶務班長）、大畑委員（専門職）
事務局及び書記（庶務班長）

欠席者 木元副委員長（診療部長）

議 題 下記について、申請者より説明を行い、委員による審議を行った。

1. 内分泌代謝疾患の遺伝子型・核型・表現型関連等に関する研究

（申請者：小児科医師 泉 達郎）

判定結果：承認

2. 重症心身障害病棟における家族参加型行事の検討

（申請者：療育指導室 保育士 山本 和弥）

判定結果：条件付承認

〔 課題名及びアンケートの内容を検討すること 〕

3. 重症心身障がい児（者）の発熱アセスメントにおける3点体温測定の有用性についての検討

（申請者：1階病棟 看護師 南 里奈）

判定結果：条件付承認

〔 患者「不利益」の記載がないので記載すること
匿名性を確保すること
患者向け説明書文言を再検討すること 〕

4. 人工呼吸器装着者の入浴時における PEEP バルブ付きバッグバルブマスクの有用性

(申請者：2階病棟 看護師 芳原 大智)

判定結果：条件付承認

患者向け説明書に当該研究対象機器の写真を添付する等、わかりやすくすること
利益相反に関して明確にすること
匿名性を確保すること

5. 人工呼吸器回路のポジショニングにおける Double. T-cube の有用性

(申請者：3階病棟 看護師 島崎 智仁)

判定結果：条件付承認

患者向け説明書に当該研究対象機器の写真を添付する等、わかりやすくすること
患者「不利益」の記載がないので記載すること
利益相反に関して明確にすること
匿名性を確保すること

6. Y字コネクタを用いた気管カニューレカフ上部及び唾液持続吸引の有用性

(申請者：4階病棟 看護師 高田 梨乃)

判定結果：条件付承認

利益相反に関して明確にすること
匿名性を確保すること

7. 慢性期の神経疾患患者に対して作業活動を行った際の行動変容を探る

(申請者：リハビリテーション科 作業療法士 苫谷 勇太)

代理説明者 芹澤 宏太

判定結果：条件付承認

作業活動の内容を明確にすること
患者「不利益」の記載がないので記載すること
A 期間と B 期間の訓練方法の再確認をすること

8. 神経難病患者に対するコミュニケーションロボットの効果

(申請者：看護部 看護師 田本 奈津恵)

判定結果：条件付承認

研究対象者の明確にすること

DHC 項目「身だしなみへの関心」の評価方法を検討
すること

利益相反に関して明確にすること

匿名性を確保すること

以 上